科目名	開講時期	開講学年		
小児看護学実習	通年	3	⑩/選	２単位

担当教員名	電子メール	オフィスアワー
田村三穂、両角理恵、山本久美子、非常勤実習助手	Miho.tamura@tohto.ac.jp	水曜日 3～4 限、木曜日 2 限

授業の概要

小児期における成長・発達の特徴を理解し、さまざまな健康レベルにあって医療を受ける状況にあるこどもと家族に対して適切な看護が実践できる基礎的能力を修得します。病院に入院し治療や検査を受けながら生活を送るこどもと家族に対して看護過程を展開します。この前後にはこどもの生活の場である保育園・認定こども園での実習ならびに、小児科外来での見学実習を行い、これまでに学修したことの知識と技術と態度の統合を図ります。科学的根拠を基に看護者としてふさわしい態度を身につけるとともに、ヒューマンケアの実践ができるようになることを目指します。

キーワード	到達目標
小児期 成長・発達 保育園・認定こども園 小児外来 こどもの権利と擁護 倫理感 ヒューマンケア	1. 小児期にある対象の理解を基に、看護過程を展開する。 2. 保育園・認定こども園に通園する健康な乳幼児の成長・発達過程と関わり方を理解する。 3. 小児外来を受診するこどもとその家族ならびに看護の実際を理解する。 4. 小児の権利を保障し安全に留意したヒューマンケアに基づく看護実践を行う。 5. 看護専門職としての態度と倫理感を養う。

授業の計画・形式

【２週間の実習日程】事前課題と提出方法については別途提示

	期間	場所	内容
第１週	１日目	学内指定場所	オリエンテーション・技術テスト
	２日間	保育園・認定こども園	保育園実習
	１日間	指定場所	課題学習
	１日間	各施設/小児科外来	小児科外来実習
第２週	４日間	各施設/病棟	病棟実習
	実習最終日	学内指定場所	合同カンファレンス、学習まとめ、評価面接、記録提出 17：00

・新型コロナウイルス等の諸事情の影響により変更することがある。
・詳細は領域別オリエンテーションにて提示・説明する。

教科書、参考書

教科書	・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学１小児看護学概論、小児臨床看護総論、医学書院 ・奈良間美保他：系統看護学講座専門分野Ⅱ　小児看護学２小児臨床看護各論、医学書院 ・浅野みどり編：根拠と事故防止からみた小児看護技術、医学書院 ・茎野智子：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程、医歯薬出版
参考書	・浅野みどり：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図、医学書院 ・市江和子：病期・発達段階の視点でみる　小児看護過程 、照林社

受講要件

先修条件は「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」、「小児看護学概論」、「小児看護学援助論」である

成績評価

小児看護学習評価表から総合的に評価する

担当教員からのメッセージ

看護学を履修する上で、最も高度な能力を必要とする学修の場が臨地です。今まで学修したこどもの成長・発達過程の知識、こども特有の症状や疾患と治療、小児看護技術の実践能力、家族の発達過程を理解した上での情報収集など、充分復習して臨んでください。一方で、小児看護は、皆さんが生まれてから育ってきた過程における体験をいかすことができる領域です。自分のこども時代のようすを教えてもらったり、身近に居るこどもの様子に関心を寄せて観察したりすることで、一層理解が深まります。自他の安全に注意して主体的に学びを深めていきましょう。